受 企 相 第 3 - 1 2 8 号 平 成 2 3 年 4 月 7 日

日本共産党鳥取市委員会 委員長 角谷 敏男 様

鳥取市長 竹内 功

市庁舎「新築・統合」の白紙撤回を求める申し入れ(回答) (対平成23年3月22日付け)

このことについて、別紙のとおり回答します。

【陳情・要望に関する担当】

鳥取市尚徳町116番地 鳥取市役所本庁舎 企画推進部市民総合相談課:石原

Tel $0 \ 8 \ 5 \ 7 - 2 \ 0 - 3 \ 1 \ 5 \ 8$

E-mail shiminsoudan@city.tottori.lg.jp

【要望事項】

いま、市民の雇用とくらしは大変です。来年度、国保料が2年連続で約10%、水道料金は約8%の引き上げとなり、市民の負担はいっそう重くなります。その一方で、鳥取市は市庁舎の「新築・統合」計画をすすめています。2月5日には基本方針(素案)が出され、3月末には基本方針を決定し、市庁舎の規模や建設場所を明らかにする考えです。

しかし、これまでの住民や市民団体主催の集会や市の説明会では「4000 人の市民アンケートは、新築を前提にしたもので一方的だ」「約100億円もかかる大事業を、わずか数カ月で結論を出すのはおかしい」「県庁が耐震改修なのに、市はなぜできないのか」「財政は厳しい。合併特例債は借金であり、将来の返済は大丈夫か」などといった数多くの疑問や意見、批判があがっています。

また、市民アンケートの回答の中には市役所周辺の商店街の振興など、まちづくりの点からも疑問や不安の声が強く出されています。

市庁舎整備は市民にとって大きな問題です。いまの市のやり方は「市民が主役の市政」「市民と協働をすすめる市政」ではありません。私たちは、十分に市民と議論し、市民の合意形成をはかることが重要と考えます。

よって、市庁舎の「新築・統合」を白紙に戻すように、寄せられた賛同署名 とともに強く要請いたします。

賛同署名数2698筆

【回答】

市庁舎の整備は市政の大きな課題と考えており、市民の皆さんの意見や市議会特別委員会における幅広いご議論を踏まえ、3月25日には「鳥取市新庁舎建設に関する基本方針」を決定いたしました。

この基本方針でお示しておりますように、合併特例債を活用し、早期に庁舎の建設を駅周辺において進めることが、市民にとって最良の選択であると考えております。

新年度のなるべく早い時期に建設候補地を決定し、基本構想・基本計画を年度内に策定していく予定としています。

市庁舎の整備は緊急かつ重要でありますので、白紙撤回することはできません。

【本件に関するご質問・お問合わせは下記まで】

総務部 庁舎整備局 (電話番号:0857-20-3012)